

Sato Project

Sato Project

農業が環境を破壊するとき —ユーラシア農耕史と環境—
「里」プロジェクト

お問い合わせ

総合地球環境学研究所佐藤プロジェクト(加藤) e-mail:sato@chikyu.ac.jp

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山 457-4 Tel:075-707-2384 Fax:075-707-2508



講座タイトル「ユーラシア農耕史」とテーマ1のキーワード「イネ」をイメージしてユーラシア大陸に稲を採り入れてデザインしました。(Design by S.Wade)

第1回「ユーラシアの風土と農業」が 開催されました

木村 栄美(地球研 佐藤プロジェクト研究員)

臨川書店 「ユーラシア農耕史」 連続公開講座

第1回「ユーラシアの風土と農業」が開催されました

木村 栄美（地球研 佐藤プロジェクト研究員）



立本成文氏

去る2008年5月17日（土）、同志社大学新町キャンパスの臨光館204番教室において、当プロジェクト主催の「ユーラシア農耕史」連続公開講座の第1回目が開催されました。本講座は、当プロジェクトのこれまでの研究成果を、一般のお客様にも広く知っていただきたい、という主旨から、同志社大学理工学部環境システム学科の共催、臨川書店の協力により、開講が

実現しました。講座は「モンスーン地帯における人と植物」「米と命」「砂漠・牧場の風土と農耕」「さまざまな栽培植物と農耕文化」の4つのテーマにまたがり、2009年4月まで月1回、全12回開催される予定です。

初回は民族学の第一人者である佐々木高明氏をお迎えし、当プロジェクトリーダー佐藤洋一郎（当研究所教授）との座談会形式で、テーマ「ユーラシアの風土と農業」について対談しました。会場案内が遅れるなど、無事開催できるかどうか不安でしたが、講座を楽しみにしている、との多くの受講者の声に励まされ、開講にこぎつけました。

当日はみごとに五月晴れの中、まず立本成文（当研究所所長）の開講の挨拶に始まり、「照葉樹林文化論」を打ちたて、これまで数々のフィールドワークによる実績をもとに論を展開する佐々木高明氏と、風土を、



講座風景

「牧場」「砂漠」「モンスーン」「根
栽農耕」という4つに分類して論を
展開する佐藤洋一郎との掛け合い
を、受講者に堪能していただき、ま
ずまずの盛況ぶりと感じました。日
本人はコメをごく当たり前のごと
く主食としてきましたが、実は風土
や気候によって主食は異なります。
また、イネの種類も一つではない、
ということに今更ながら気づかさ
れました。今回の講座内容は、本講



佐々木高明氏

座全体の基盤となることは勿論のことですが、イネの起源や風土に基づく進化、あるいは日本へ渡来したイネについてなど興味は尽きず、今後の展開にさらなる期待がもてそうです。

次回は6月14日(土)、同志社大学今出川キャンパス至誠館23番教室で開催されます。テーマは「自然科学からみたイネの起源と渡来」で、石川隆二氏(弘前大学准教授)と佐藤洋一郎が、自然科学の視点からイネの起源と種類について、新たな知見から対談します(スペシャルゲストの登場も)。また、第3回は7月12日(土)、同志社大学今出川キャンパス至誠館23番教室で開催予定です。テーマは「米(コメ)の登場と稲作の文化」で、講師には中村慎一氏(金沢大学教授)、宇田津徹朗氏(宮崎大学准教授)、若林邦彦氏(同志社大学准教授)



佐藤洋一郎

をお迎えし、日中におけるイネについて、その起源と文化を科学、考古学との、それぞれの視点から討論していただきます。

まだまだ講座は続きます。どなたでも参加できますので、是非お越しください。なお、講座は申込制ですので、参加ご希望の場合には、当プロジェクトにお申込みください。お待ちしております。

『ユーラシア農耕史』書籍化決定！！